

【感想】 本国際会議では、「Survey on Occurrences of Polyfluoroalkyl Phosphate Esters (PAPs) in Cosmetics and Wastewater Treatment Plants」という題目で Mini-Oral Presentation (Poster-session)で研究発表をして参りました。環境問題に関する研究発表の場である為、Paper-less を目指した環境配慮型の会議であり、Poster-session はタッチパネルのモニター画面を使用して発表するという形式であり、非常に興味深かったです。本発表では、残留性有機フッ素化合物類の化粧品および下水処理場における存在実態の調査結果を報告しました。議論を通じて、網羅的な化学物質管理方法の構築が必要であると考え、次の研究の展開であると認識しました。さらに化学物質の影響（毒性情報）を加味した評価手法の確立が必要であると感じました。学会発表を終えても、一部の研究者・専門家（BeachEdge Consulting, LLC, The University of Queensland, ARCASIS, California Environmental Protection Agency, Green Science Policy Institute）と情報交換をすることで、研究者としての人的ネットワークの構築をいたしました。

最後に、本渡航では、様々な研究者・専門家の方々と新しいネットワークを構築でき、今後の研究の発展に向けて新たな情報と着想が得られ、将来、研究者を目指す自身にとって大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。助成いただき、発表の機会を与えてくださった京都大学土木会様に深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。